



2020 年 7 月 22 日 特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

「みてね基金」によるご支援決定のお知らせ

長期療養のこどもたちとアスリートが交流するオンライン事業 ~小児医療現場に拡大へ~

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan(所在地:東京都世田谷区、理事:北野華子)は、新型コロナウィルス感染拡大により、家族との面会や外出制限がある入院中のこどもたち、また自宅療養中のこどもたちの「ヒト」「社会」との接点をつくる「長期療養児とアスリートが交流するオンライン事業」を6月に本格的に開始しました。

このたび、子どもやその家族を取り巻く社会課題の解決に取り組む団体への資金提供を行う「みてね基金」の助成対象団体に選ばれ、本事業の拡大に必要な資金「5,672,060 円」をご支援いただくことが決まりました。



長期療養児とアスリートが交流できる オンライン事業

長期療養児とアスリートが交流するオンライン事業は、5月より J リーグクラブやトップリーグに所属するラグビー選手をはじめ、多競技の選手の協力を得て試験運用を実施し、Being ALIVE Japan が企画運営する長期療養児のスポーツチーム入団事業「TEAMMATES」を通じて入団経験のあるこども





たちと、ステイホームしながら、オンラインで交流を図りました。今後は、本事業を小児医療現場で も実施し、自宅療養中だけでなく入院治療中のこどもが参加できるよう準備を進めてまいります。

Being ALIVE Japan は、こうしたアスリートとのオンラインでの交流を通じて、長期療養を頑張るこどもたち同士、また入院中で面会制限があるきょうだいや家族をつなぎ、一人で頑張る治療生活ではなく「仲間と一緒に過ごす療養生活」を支援していきます。

■みてね基金について

「みてね基金」は、家族アルバム「みてね」の事業責任者でもある株式会社ミクシィ取締役会長・笠原 健治が個人として、10億円を子どもやその家族を取り巻く社会課題の解決に取り組んでいる団体に対して活動資金として提供するほか、団体の活動内容を「みてね」ユーザーの方々に紹介することで、社会課題そのものや、団体とその取り組みの認知向上にも貢献していく助成活動です。第一期の公募では、対象を新型コロナウイルスの影響で困りごとを抱える家庭を支援する活動を行う団体に絞って実施し、2020年6月時点で、国内外の67団体に約4億円の資金提供を実施することとなりました。

「みてね基金」特設ページ: https://media.mitene.us/archives/1583

■Being ALIVE Japan がオンライン事業に取り組む背景

新型コロナウィルスの流行に伴い、感染拡大を防ぐ目的で現在、小児医療現場では家族面会の制限 又は禁止、外出・外泊の制限や禁止、病棟プレイルームでの遊びや病棟イベントの中止等、こどもた ちの 療養生活を支える「ヒト」「社会」との接点が極力制限されています。また重症化のリスクが高 い自宅療 養中のこどもたちも、外出制限や同世代との交流が限られており、緊急事態宣言の解除後も 長期的に制 限のある日常と一人で頑張る療養生活が続いていく現状があります。

Being ALIVE Japan では 2015 年より、アスリートやスポーツチームと連携し、病院や地域社会の中で長期療養中のこどもたちに対し、スポーツを通じた支援を実施してきました。構築してきたアスリートやスポーツチームとの関係と実績を活かし、2020 年 6 月、こどもたちの長期療養生活を支え合う関係を構築することを目的としたオンライン事業を本格的に運用開始しました。小児医療現場でのオンライン支援の導入と普及をはじめ、アスリートとの交流を通じて、全国の長期療養中のこどもたちをつなぎ、支え合うコミュニティを創出していくために貢献したいと考えています。





【参考写真】オンラインプログラムの様子



オンラインプログラムを楽しむ 長期療養中のお子さんときょうだい



」リーグクラブ「モンテディオ山形」 選手とのオンライン交流





<以下、参考情報>

■ 特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

2015 年 4 月より、入院中のこども向けのスポーツ活動の提供をはじめ、2016 年 2 月に特定非営利法人化。難病や慢性疾患、長期的に治療・療養を必要とするこどもの青春と自立を支援することを目的に、地元アスリートやスポーツチームと連携し、こどもたちとご家族を支え応援する存在

「TEAMMATES」を地域社会に増やす活動をしています。現在までにスポーツチームとのマッチング事業「TEAMMATES」、病院・地域の中で長期療養児のスポーツ活動の提供と普及をしています。また新型コロナウィルス感染拡大により、家族との面会や外出制限がある入院中のこどもたち、また自宅療養中のこどもたちの「ヒト」「社会」との接点をつくる「長期療養児とアスリートが交流するオンライン事業」を6月に本格的に開始しています。

■ HEROs AWARD of the year (最優秀賞) 2018 受賞!

「スポーツの力を活かした、ソーシャルイノベーションの推進」する活動を表彰する HEROs

AWARD 2018 の受賞 https://award.sportsmanship-heros.jp/2018winners_6.html

2018年12月17日、グランドハイアット東京にて開催されました日本財団が主催する「スポーツの力を活かした、ソーシャルイノベーションの推進」をする活動を表彰するHEROs AWARDでHEROs of the year(最優秀賞)を受賞致しました。





【お問合せ先】

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan 理事長 北野華子

〒158-0082 東京都世田谷区駒沢公園 1-1 Tote 駒沢公園 301

Email: info@beingalivejapan.org

Homepage: http://www.beingalivejapan.org

TEL: 080-3411-4210 (北野)